

## 第5小委員会

音 樂  
(一般)

## 別紙様式2

### 報 告 書

令和2年7月22日

第12地区教科書採択教育委員会協議会長 程野仁様

第12地区教科書採択調査委員会第5小委員会委員長 久保睦則

先に諮問のあった令和3年度から使用する中学校用教科用図書について、音楽の教科書見本本の調査研究結果を次のとおり報告します。

記

#### 1 調査研究の経過

第1回調査委員会（6月29日）

- (1) 配付された2者の教科書について、調査研究の観点や手順を協議した。
- (2) 各者の教科書を調査研究し、次回の選定委員会での検討資料とすることを確認した。

第2回調査委員会（7月9日）

- (1) 調査研究の観点や手順に基づいて作成した調査研究資料について協議した。
- (2) 報告書作成のための準備を行い、次回の調査委員会での協議内容を確認した。

第3回調査委員会（7月16日）

- (1) 作成してきた報告書について、作成の趣旨に基づき協議した。
- (2) 配付された2者の教科書について、報告書を作成した。

#### 2 調査研究の方法

発行者から送付された教科書見本本について、以下の調査研究の観点に基づき、「教科書編集趣意書」及び北海道教育委員会が作成する「採択参考資料」を参考として行った。

ア 「取扱内容」について

- ・学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容及び学年・分野・領域等の目標、内容等に基づいて、正確、適切に取り上げられているか。

イ 「内容の構成・排列・分量等」について

- ・内容の構成が、地域の実態や生徒の生活経験及び興味・関心などに配慮されているか。
- ・内容の排列が、学年の発達段階に応じて、体系的、発展的に組織されているか。
- ・内容の分量が、各分野や領域ごとに適切におさえられているか。

ウ 「使用上の配慮等」について

- ・生徒の学習意欲を高める工夫がなされているか。
- ・自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。
- ・目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は配慮されているか。

### 3 見本本の総合所見

#### (1) 教育出版 「中学音楽 音楽のおくりもの」

- ・歌唱については、齊唱から混声四部合唱までについて、曲想と曲全体の構成とのかかわりを理解し、他の声部や伴奏と合わせて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。（第2・3学年）
- ・創作については、言葉のリズムやまとまりを理解したり、全体の構成を考えながら音楽をつくるために必要な技能を身に付けたりして、創作表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。（第1学年）
- ・鑑賞については、我が国や郷土の音楽及びアジア地域の諸民族の音楽等について、音階や曲の構成等を理解したり、複数の音楽の特徴や関連について考えたりして、音楽のよさや美しさを味わって聴く学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。（第1学年）
- ・主体的・対話的で深い学びの実現については、「CMソングをつくろう」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、言葉や音階の特徴を生かして旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り入れられている。（2・3学年）
- ・器楽については、様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、音色と奏法のかかわりや曲想と音楽の構造のかかわりを理解したり、基本的な奏法や他のパートと合わせて演奏するために必要な技能を身につけたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。

#### (2) 教育芸術社 「中学生の音楽」

- ・歌唱については、齊唱から混声四部合唱までについて、曲想と歌詞の結びつきを理解したり、全体のまとまりに気を付けて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。（第2・3学年）
- ・創作については、音のつながりかたの特徴を理解したり、音素材の特徴を生かしながら構成を工夫して音楽をつくる技能を身に付けたりして、創作表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。（第1学年）
- ・鑑賞については、我が国や郷土の音楽及び諸外国の様々な音楽等について、楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化を理解し、各地に伝わる音楽の特徴について自分なりに考え、音楽等のよさや美しさを味わって聴く学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。（第1学年）
- ・主体的・対話的で深い学びの実現については、「Let's Create!」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、リズムの重なりや音の出し方を工夫してリズムアンサンブルをつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り入れられている。（第2・3学年）
- ・器楽については、様々な楽器の独奏曲や合奏曲について、曲の構成や音色・強弱、音の重なりなどを理解したり、基本的な奏法やパートの役割を考え、全体の響きを確かめながら演奏するために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。

## 別紙様式1

番号 観点	発行者の番号・略称 17・教出	使用学年 第1学年 第2・3学年(上) 第2・3学年(下)	教科書の記号・番号 音楽・701 音楽・801 音楽・802	教科書名
				中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽2・3下 音楽のおくりもの
取扱内容				<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各分野、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱について、第1学年では、齊唱から混声三部合唱までについて、<u>曲想と形式とのかかわり</u>を理解したり、<u>他の声部を聴きながら歌うために必要な技能</u>を身に付けたりして、歌唱表現を創意工夫する。第2・3学年では、齊唱から混声四部合唱までについて、<u>曲想と曲全体の構成とのかかわり</u>を理解したり、<u>他の声部や伴奏と合わせて歌うために必要な技能</u>を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。</li> <li>・創作について、第1学年では、<u>言葉のリズム</u>を理解したり、<u>全体の構成を考えながら音楽をつくるために必要な技能</u>を身に付けたりして、創作表現を創意工夫する。第2・3学年では、<u>音符のつなげ方によるリズムの違い</u>を理解し、<u>選んだ言葉や音階の特徴を生かして表現するために必要な技能</u>を身に付けたりして、創作表現を創意工夫する。</li> <li>・鑑賞について、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽において、第1学年では、<u>音階や曲の構成等</u>を理解したり、<u>複数の音楽の特徴や関連について考えたりして、音楽のよさや美しさを味わって聴く</u>。第2・3学年では、<u>リズムや旋律の反復による曲全体の構成等</u>を理解したり、<u>音楽の役割や特徴を踏まえた共通点や相違点について考えたりして、音楽のよさや美しさを味わって聴く</u>。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの実現に関わって、第1学年の「<u>全体の構成を考えながら音楽をつくろう</u>」では、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、<u>言葉の重ね方を工夫しながらイメージに合った音楽をつくる</u>など、考えを広げたり、深めたりする活動が取り入れられている。第2・3学年の「CMソングをつくろう」では、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、<u>言葉や音階の特徴を生かして旋律をつくる</u>など、考えを広げたり、深めたりする活動が取り入れられている。</li> </ul> </li> </ul>
排列内容分量構成等				<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年では、<u>郷土の様々な民謡</u>の学習の後に、<u>日本とアジアの声による表現の特徴</u>を聴き取ったり、<u>日本と世界の歌唱における声の出し方を比較</u>したりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 第2・3学年では、<u>歌舞伎を鑑賞する</u>学習の後に、<u>歌舞伎と文楽を比較</u>したり、<u>オペラと歌舞伎の音楽の役割や特徴における共通点や相違点について</u>、考えたりする学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> </ul>
使用上の配慮等				<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「<u>Let's Sing!</u>」で表現するための技能を提示したり、作者の思いに触れることにより、<u>音楽を愛好する心情を育んだりする</u>など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「<u>比べてみよう</u>」で学習した教材を比較して表現する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、<u>配色やレイアウトに配慮</u>したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動を想定して、「<u>まなびリンク</u>」(QRコード)を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>
その他				<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>

## 別紙様式1

番号 観点	発行者の番号・略称 27・教芸	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名	
		第1学年 第2・3学年(上) 第2・3学年(下)	音楽・702 音楽・803 音楽・804	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3上 中学生の音楽 2・3下	
取扱内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各分野、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっている。           <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱について、第1学年では、齊唱から混声三部合唱までについて、<u>旋律の特徴や強弱の変化を理解し、互いの声や伴奏をよく聴きながら歌うために必要な技能を身に付けたりして、歌唱表現を創意工夫する。</u>第2・3学年では、齊唱から混声四部合唱までについて、曲想と<u>歌詞の結び付きを理解したり、全体のまとまりに気を付けて歌うために必要な技能を身に付けたりして、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。</u></li> <li>・創作について、第1学年では、<u>音のつながり方の特徴を理解したり、音素材の特徴を生かしながら構成を工夫して音楽をつくる技能を身に付けたりして、創作表現を創意工夫する。</u>第2・3学年では、<u>言葉の抑揚を生かしたり、音階を使って和音の動きに合わせたりして音楽をつくる技能を身に付け、創作表現を創意工夫する。</u></li> <li>・鑑賞について、我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽において、第1学年では、<u>楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化等を理解し、各地に伝わる音楽の特徴について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</u>第2・3学年では、<u>声や楽器の音色、旋律の特徴等を理解し、世界各地の楽器と似た特徴をもつ日本の楽器の音楽などを聴き比べて共通点や相違点について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。</u></li> <li>・主体的・対話的で深い学びの実現に関わって、第1学年の「My Melody」では、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、<u>音のつながり方を工夫しながら旋律をつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り入れられている。</u>第2・3学年の「Let's Create!」では、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、<u>リズムの重なりや音の出し方を工夫してリズムアンサンブルをつくるなど、考えを広げたり、深めたりする活動が取り入れられている。</u></li> </ul> </li> </ul>			
排列分量構成等		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1学年では、<u>日本の民謡を味わって聴く</u>学習の後に、<u>声や音楽の特徴を生かして民謡を歌ったり、郷土に伝わる民謡を調べたりする</u>学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>○ 第2・3学年では、<u>文楽を味わって聴く</u>学習の後に、<u>声や音楽の特徴を生かして義太夫節を語ったり、郷土の祭りや芸能について考えたりする</u>学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</li> </ul>			
使用上の配慮等		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「My Voice」で<u>歌唱表現のための技能を提示したり、演奏者からのアドバイスを紹介して学習を深めたりできるようにする</u>など、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ キャラクターの吹き出しによるヒントの提示や、「<u>曲のよさをプレゼンしよう</u>」でみんなに薦めたい曲のよさを音楽と関連付けて<u>プレゼンテーションする</u>活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</li> <li>○ 全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり、<u>白を基調とした紙面で、情報の配置に配慮したり</u>とともに、1人1台端末を活用した学習活動を想定して<u>QRコードを掲載する</u>など、使用上の便宜が図られている。</li> </ul>			
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</li> </ul>			